第12回全日本演劇フェスティバルin福島 ニュース第１号

演劇フェスティバル事務局

2014年5月14日発行

事務局　劇団仙台小劇場　〒982-0011仙台市太白区長町4-1-16-102
事務局長　石垣政裕（劇団　仙台小劇場）　bzt04200@nifty.ne.jp

とどけ福島へ！演劇の力！

3月の全リ演議長団会議の承認を経て4月19日、山形において演劇フェスティバル担当の東北ブロック、劇団山形・仙台小劇場が事務局会議を開き、フェスティバルの詳細案が決定しました。

今年の夏休みは、8月末（8月29日-30日に今から日程の調整をお願いいたします。

福島の高校演劇部が上演

上演団体ががほぼ決まりました。福島からは福島県立光南高校（福島県西白河郡矢吹町）。

URL　http://www.kohnan-h.fks.ed.jp/

上演作品は新学期になってから部員と相談して決めたいと演劇部顧問の佐藤茂紀先生。　光南高校の千葉県での公演がインターネットで紹介されています。

http://oogaki-keiji.seesaa.net/article/386445097.html

上演終了後、高校生との交流会も準備しています。

井上ひさし作「貧乏物語」
関東ブロック合同公演

忙しい公演の合間を縫ってプロアマ合同の全リ演東関東ブロックの合同公演が決定しました。

河上肇とその家族を描く井上作品。東京芸術座の印南貞人演出の舞台は今日の日本の情況に深く切り込む舞台になると期待が膨らみます。

宿泊
福島県青少年会館
http://fukushima-youth.com/youth/
〒960-8153　福島県福島市黒岩字田部屋53番5号
TEL 024-546-8311　FAX 024-546-8311
東北新幹線福島駅下車（ タクシー約10分 ）
東北本線南福島駅下車（ タクシー約3分･徒歩約15分 ）

篠原久美子作
朗読劇「空の村号」
京浜協同劇団公演

第４８回斎田喬戯曲賞受賞作品

篠原久美子作「空の村号」を京浜協同劇団が和田庸子演出、安達元彦音楽で上演します。

原発事故で避難を余儀なくされた福島の酪農一家を描く。福島で一緒に心を感じたい。

http://www.kinet.or.jp/keihin/bunkano-nakama/news/No65.pdf　より

全リ演西会議合同公演

かたおかしろう作「天満のとらやん」

むかしむかし 天満の町に住んでいたとらやんが、逃げたドジョウをおいかけて、福島の海岸にまでやってきた・・・・。

劇団きづがわの演出家林田時夫が西日本の俳優たちとつくる 音楽劇。みのがしたらあきまへんでぇ。

スケジュール詳細案

	時間	場所	項目	場所	項目
8 28 木	20:00				
		青少年会館	東会議運営委員会	青少年会館	
	21:00	第5研修室		第5研修室	
	22:00		簡単な懇親会		
29 金	8:00				
	9:00		西の福島ツアー開始	乗ってきたバス	
	10:00				
	11:00				
	12:00				
	13:00	テルサ・ホール	貧乏物語仕込み開始	テルサ玄関	受付け開始
			西のツアー帰還		
	14:00			テルサ・あぶくま	東総会開始
	15:00				
					東総会終了
	16:00			テルサ・あぶくま	分科会・新田満
					分科会終了
	17:00				
	18:00	テルサ・ホール	開会式		
	19:00	18:30	上演1「貧乏物語」		
	20:00	20:30	上演終了		
			宿舎移動	宿舎バス・一般乗り合い	
	21:00		大交流会	大研修室	
	22:00				
	23:00				
8 30 土	8:00				
	9:00	テルサ・ホール	光南高校仕込み	テルサ・あぶくま	東西合同会議
	10:00				
	11:00		上演2 光南高校		
	12:00		上演終了	テルサ・あぶくま	高校生との交流会
	13:00	テルサ・ホール	西仕込み		
	14:00	テルサ・ホール	上演3「天満のとらやん」		
	15:00	15:30	上演終了		
	16:00	テルサ・ホール	京浜仕込み		
	17:00				
	18:00	18:30	上演4「空の村号」		
	19:00				
	20:00	テルサ・ホール	閉会式		
	21:00	20:30	西帰路出発・東移動		
	22:00			小交流会	
	23:00				
8 31 日	8:00				
	9:00	9:00	オプショナルツアー出発		
	10:00				
	11:00				
	12:00				道の駅など
	13:00				
	14:00				
	15:00	15:00	福島駅帰還・解散		

分科会講師に
舞台芸術コーディネーター
新田 満 氏 に決まる

前回の演劇フェスティバルを湯田の銀河ホールで開催したことを覚えておいでだと思います。
あの銀河ホールを舞台に制作（文化の仕掛け人）として活躍し、現在舞台芸術の多方面に活躍している新田 満氏（現在）を迎え、地域演劇と公的助成などについてのお話を伺います。

スケジュールの概要

場所 福島テルサ
福島市上町 4-55

8月28日(木)夜　東会議運営委員会
29日(金)12:00　受け付け開始
14:00　東総会議総会
16:00　新田満氏講演
18:00　開会
30日(土)20:00　閉会
31日（日）　オプショナルツアー

費　用

参加費　15,000円（交流会費含む）
を予定しています。
オプショナルツアー　2,000円（昼食別）
いまから節約して貯めましょう。

Information

申し込み方法

5月30日頃　HPに掲載
7月31日　申し込み締め切り

問い合わせ先

実行委員会事務局
電話　090-8926-0641
メール　bzt04200@nifty.ne.jp

ゴローちゃんや飛び出す紙芝居もフェスティバルへ！

開会に先立って
福島の被災地を訪問！

　これまで何ども被災地を訪れている、人気者の「しろたにさんとゴローちゃん」がチョー過密のスケジュールの合間に、それに今年度までで宮城県の100箇所公演をめざす仙台小劇場の「飛び出す紙芝居」が、今回のフェスティバルの一環として福島の浜通を訪れます。
　劇団はぐるまでも、移動できるステージを開発中と聞いています。

人気者ゴローちゃん　またまた　福島へ

「おじさん『たまたま』じゃないからね。『またまた』だからね。ぼくはこれまで何度も福島へ来てるんだからね。」
「そのくらいおじさんにも分かるよ」
「へぇ、どうして分かるの？ぼくね、おじさんがぼくと一緒に電車に乗ったりしところ見たことないんだけどなぁ・・・」

飛び出す紙芝居

「アーリー博士とレイト怪人」

「博士！怪人は現れますかね？」
「くる。きっとくる。宮城県だけでなく、福島へもやってくるぞぉ」
「でも、ちゃんと休みが取れるんでしょうか？」
「大丈夫、怪人のことだ。今のうちから上司にごまをすっているに違いない。」

全リ演ニュース

第26回
馬山国際演劇フェスティバル

　4月25日から5月4日まで韓国昌原市馬山で国際演劇祭が開かれました。中国・韓国・シンガポール・モンゴル・マレーシアが上演しました。日本からは仙台小劇場の石垣・小松が参加し、各国との友好を深めました。

来年は是非、全リ演の劇団から参加をお願いしたいとのことです。毎年この時期に開かれますので、どうぞ興味のある劇団は石垣までご連絡ください。

中部ブロック3度目のボランティア

　震災から3年が過ぎました。中部ブロックでは毎年東北ボランティアを続けています。
　今年は、4月12日-13日に18名の参加で行われました。
今年は、宮城県の山元町で「からむし」の植え代えの農作業。さすがに舞台の道具を作っている女性だ。そのパワーは、3日分の仕事を1日でこなしてしまい、地元の受け入れ先のボランティアの方を驚かせました。夜は、福島件南相馬市の聖愛保育園の遠藤美保子園長先生の話を聞くことができました。園の先生方が子ども　を守るために、目に見えぬ放射線との戦いの日々。子どもたちの心の変化を聞くことができました。

　2日目は、福島県の南相馬市小高区と浪江町の境にある希望の牧場・福島（かつてのエム牧場浪江農場）を訪　れ、「この牛たちは、生きているだけだ！」と言葉激しくはなす吉沢正巳代表の話に聞き入りました。

　今回のボランティアは、福島でフェスティバルを開く上で、とても貴重な体験ともなりました。